

取扱注意

関西俳句バトル 2026

投句一覧

記名版

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
選者																				
俳句	バケットを一本抱いて枯野かな	枯野人マヨネーズを買いに行こう	右向けば左の枯野広がれり	枯野の木三十路の兄と糸電話	凜々し夜枯野に落つるスターの芽	枯野原ベイツ氏擬態バレちった	枯野道石笛ヒヤーとしか鳴らず	枯野ゆく自由時間のいつぱいに	いつもより鐘早いかも大枯野	紙飛行機枯野を戻り来てしまふ	枯野ゆく脳のどこかの眠るまま	傾ぐまま列車の止まる枯野かな	マラソンの曲がりに枯野見えてをり	音のない枯野から見る星座たち	突風も猿も留守なる枯野かな	フライングディスク降りたる枯野かな	髪切つて首の吹かるる枯野かな	缶コーヒー転がりて散る枯野かな		
チーム名	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄B	京都共栄B	京都共栄B	灘	灘	灘	名古屋	名古屋	名古屋	洛南A	洛南A	洛南A	洛南B	洛南B	洛南B		
作者	金谷 莓香	由良 瑞規	斎藤 美桜	居相 咲希	日置 歩風	宮崎 凜	物部 知達	伊井 颯一	天野 晃希	三輪 修平	富田 輝	関谷 諒太	葛城 健太郎	山崎 悠理	前田 佑介	和田 翔太郎	阿見 果凜	大谷 風		

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
選者																				
俳句	水仙のごときお辞儀や帰り道	幼子や水仙食って死ぬなかれ	噛み跡の多き玩具や雪中花	水仙や使い古したカトラリー	〇の冥土の土産水仙花	水仙や維管束に流れる愛情	温泉を運ぶトラツク水仙花	水仙やリップクリーム塗る美德	マクベスの台本になき水仙花	先生はピアノも弾けて水仙花	水仙や涙が頬を渡りきる	水仙や指輪のための指をもち	水仙や髪のはつれの照り返し	水仙や篠笛の音裏返り	水仙や空といふ空暮れてをり	水仙や仰げば瓦礫山をなす	水仙やパンを蜂蜜よく滑る	起き抜けの声まだ曇り水仙花		
チーム名	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄B	京都共栄B	京都共栄B	灘	灘	灘	名古屋	名古屋	名古屋	洛南A	洛南A	洛南A	洛南B	洛南B	洛南B		
作者	千坂 明里	増茂 一花	由良 瑞規	松尾 理恵子	宮崎 凜	居相 咲希	物部 知達	天野 晃希	岡部 勇澄	富田 輝	関谷 諒太	三輪 修平	葛城 健太郎	田畑 そら	前田 佑介	和田 翔太郎	阿見 果凜	大谷 風		

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
選者																				
俳句	ラーメンを学ぶごとと食ひ春隣	風舞って入学写真目線ずれ	夜学校白骨のごと椅子のある	学生に白タイ結ぶ冬めく手	夜学中ドライヤーをBGMに	学窓に終止符打ちて春惜しむ	学の無いメダカ遊んでいて口笛	冬銀河学生として死にゆけり	冷帯を緑で囲む三学期	標識の道の真つ青入学す	大学に木漏れ日多し初雀	学童のさいごのひとり虫の声	背曲がりし学級図書や暮早し	学級日誌閉ぢて初雪匂いけり	神の留守学帽は手を回りけり	転学の書類の厚き霜夜かな	冬空の学術都市に朝の来る	深海の遊具の冷えて夜学かな		
チーム名	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄B	京都共栄B	京都共栄B	灘	灘	灘	名古屋	名古屋	名古屋	洛南A	洛南A	洛南A	洛南B	洛南B	洛南B		
作者	斎藤 美桜	千坂 明里	金谷 莓香	宮崎 凜	居相 咲希	居相 咲希	伊井 颯一	岡部 勇澄	物部 知達	関谷 諒太	三輪 修平	富田 輝	田畑 そら	葛城 健太郎	前田 佑介	阿見 果凜	大谷 凪	挾間 珠貴		

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
選者																				
俳句	背の高き料理雑誌や初比叡	情だつて理由になると初比叡	初比叡貧乏ゆすりはやめとくれ	風吹いて肉まんひとつ初比叡	初比叡通勤快速ばつか来る	一重の子今日は無加工初比叡	初比叡邪魔する雲にラリアット	初比叡コンプリート後の日暈かな	つり革に今日なら届く初比叡	初比叡鐘をかき消す腹の虫	仏出世前の象たち初比叡	隔膜に雅楽の全て初比叡	言霊に責任を持つ初比叡	陽光に香る林や初比叡	湖畔よりただ石投げる初比叡	初比叡日記にまづは空のこと	巻物に雲のてぎはり初比叡	初比叡湖光啜つてゐるかたち	雲抜けて鳥のまぶしき初比叡	初比叡石碑を文字の溢れさう
チーム名	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄A	京都共栄B	京都共栄B	京都共栄B	京都共栄B	京都共栄B	灘	灘	灘	灘	灘	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋
作者	斎藤 美桜	増茂 一花	由良 瑞規	千坂 明里	金谷 苺香	松尾 理恵子	宮崎 凜	森本 瑞生	松尾 理恵子	居相 咲希	物部 知達	岡部 勇澄	天野 晃希	伊井 颯一	三木 智敬	関谷 諒太	富田 輝	森本 柚輝	三輪 修平	武田 直弥

番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30										
選者																				
俳句	初比叡耳環の金の曇りけり	日は宙をはぐれし鱗初比叡	街の皆神輿舁なり初比叡	初比叡煤のごとくに雲一片	初比叡紐を結んだ紙袋	谷川に光ひとすぢ初比叡	ちぎり絵の大きな破片初比叡	座りたき石碑のあまた初比叡	煎餅の塩の粗さや初比叡	初比叡切符に乾かない判子										
チーム名	洛南A	洛南A	洛南A	洛南A	洛南A	洛南B	洛南B	洛南B	洛南B	洛南B										
作者	葛城 健太郎	前田 佑介	田畑 そら	葛城 健太郎	山崎 悠理	大谷 風	挾間 珠貴	和田 翔太郎	阿見 果凜	阿見 果凜										